



「与謝野町障害者スポーツのつどい」から

与謝野町障害者福祉会 会長 江原義典

7月6日(日曜日)午後1時から与謝野町大江山運動公園体育館で、平成26年度1回目の『スポーツ教室障害者スポーツのつどい』(以下「つどい」)が行われました。今日はその報告をします。

この「つどい」は京都障害者スポーツ振興会の協力のもと年2回行っています。また与謝野町からの委託事業(与謝野町障害者社会参加促進スポーツ・レクリエーション活動事業)の一環として町全体へも広がるようになり組んでいます。以前は、宮津市・与謝郡で「障害者スポーツのつどい」が開催されていたのですが、私が何年頃か不明確で、私もあまり記憶がありません。自然消滅のような状態でした。平成20年頃から復活の話

が持ち上がり、平成21年「宮津・与謝障害者スポーツのつどい」として再出発しました。その後「交通の便が無く、近くでないとなかなか参加しにくい。」という声が上がりました。平成24年から宮津市と与謝野町でそれぞれ別個に開催しています(地域外からの参加も可)。

当日の様子を見てみると、12時40分頃マイククロバスが体育館に到着。中からりと見慣れた顔が現れます。「こんにちは」「お久しぶりです」振興会のスタッフと顔見知りの人もいていきなり井戸端会議が始まりました。今回は障害者施設や宮津からの参加もあり総勢38名という多くの人が集まりました。挨拶、振興会スタッフの紹介と進み、最初は準備体

操で汗を流し、その後卓球、バレー、バドミントン、ラケット、ゴルフ、カーリング、ペイントボール、リリング、ボッチャー、車いすラケット等々思い思いの競技を楽しみました。後半は1ピンボウリング大会。倒せば豪華賞品がゲットできる。豪華賞品が一緒やる気満々(田舎者は賞品に弱い)。金子先生の巧みな話術もありテンションは最高潮。完全なストライクコースがなぜかピンの直前で急カーブ。思わず「なんで〜」「うわー」。見事なストライクには思わずガッツポーズ。なんやかんやとワイワイガヤガヤうるさいこと。2時間半と短い時間でしたが、楽しい時間を過ごしました。参加者一同次回の「つどい」に思いをはせながら帰路につきましました。

しかしながら課題は山積んでいます。高齢者が多く自分で車を運転する方が少ないので足の便が問題です。公共交通機関が不便でマイクバスを運行しないと参加者の確保ができません。町のマイクバスが利用できるときはいいのですが、他の行事で使用されていて使えないときは、民間のマイクバスを手配するので

経済的にも大きな負担となります。(町のバスは無料です)。また障害者団体には若い人がいなく、行事を行う時の会場準備、後片付け等も大変になってきています。高生へのボランティア参加依頼も行ってはいますが、厳しい状況です。他にも色々な問題が有ります。これもありませんが、基本的には疎地域における障害者団体の課題と捉えています。平成18年に旧3町が合併し与謝野町が生まれました。町と謝野町障害者福祉会として併当初250名を超えていた会員数も現在は132名と激減しました。旧加悦町時代には全国身体障害者スポーツ大会(現全国障害者スポーツ大会)にも多く出場をきっかけにして企業就職など社会参加を成し得た仲間もいます。課題の克服は簡単ではありませんが、つなぐりを作っていきます。「つどい」を継続していくことはその克服策の一つと考えています。

(裏面へ続く)

行事予定	8月	24(日)	第34回全京都障害者総合スポーツ大会 水泳大会 城陽障害者スポーツのつどい	京都市障害者スポーツセンター サン・アビリティーズ城陽	来月の つどいは 第492回 9 / 14 第2日曜日
		9月	7(日)	第30回全京都車いす駅伝競走大会 第24回ミニ駅伝競走大会	
	9(火)		丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
	14(日)		第34回全京都障害者総合スポーツ大会陸上競技大会	京都市西京極陸上競技場	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2014年6月29日に一部更新)					

(表面より)

振興会の皆様にはお忙しい中、遠いところ大変お世話になりました。綾部や福知山の方々にもお世話になりました。ありがとうございました。今後も何かとお世話になります。よろしくお願いします。

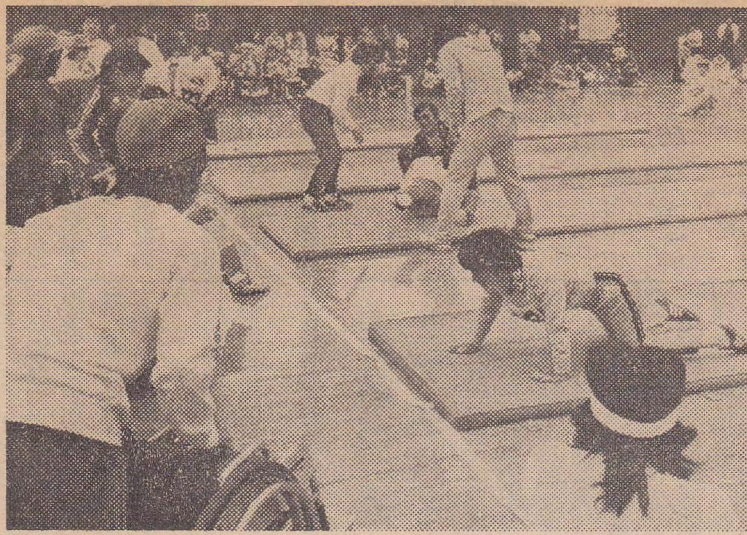
御礼とお願いを申し添えまして今回の『スポーツ教室』の報告とさせていただきます。

(記念すべきつどい100回の新聞記事)

「障害者スポーツのつどい」100回目の「汗」格別

児童ら200人

府立体育館と京都障害者スポーツ振興会が毎月開催している「心身障害者スポーツのつどい」



さかんな声援と拍手を受け、ひたむきに競技する参加者たち

の百回を記念した運動会が二日、京都市北区の府立体育館で行われ、車イスに乗った児童ら約二百人が参加、日ごとの練習の成果を力いっぱい発揮した。

スポーツのつどいは、四十七年春から毎月第一日曜の午後三時から、身障者に運動の機会を提供しており、年々参加者もふえ盛況になっている。

運動会は午後一時半から、名倉喬府立体育館長のあいさつ、選手宣誓に続いて競技開始。選手約二百人は紅白に分かれた対抗戦で障害走、音をたよりに走るチャイム・レースなどに挑戦。がんばり競争では、重度障害の子供たちが、マットの上をころんだり、はったりしてゴールをめざし、観客席から盛んな声援と拍手を受けていた。また車イスによるスラローム競技も人気を集め、選手はあだんの練習の力をせいせいといふフロアに繰り広げた。

最後はボランティアが一日がかりで仕上げた大きなクスマを、全員がボールを当てて割り、にぎやかにフィナーレを飾った。

第7回つどい500実行委員会第1グループ会議

平成26年7月13日(日)
出席者：辻井・太田・衣川・土岩・岩谷・鍛示・堀川
報告者堀川

今後の予定について

つどい500を振興会が、振興会内の取り組みとするため、振興会内がつどい500実行委員会が立ち上がる。正・副会長を中心に常任理事・理事組織する。とともに、つどい専門部員やその他、振興会で活動する有志の方にも実行委員会に加わってもらい、拡大実行委員会を組織し、4つのグループに分かれて企画準備をしていく。つどい専門部についてつどい第一競技場を中心として検討していく。(第一グループ)

つどい500に向けて

各コーナーの充実について

・受付より
受付のスタッフが競技場内の様子が見られないので、受付の機能を競技場内に入れられないかという事を提起する。また、他のスタッフにも、受付を知ってもらうためという理由で、次の通り試行。
・つどいがスタートするまでは、通常通りの配置。あらかじめ、荷物置き場の横に机を置いておく。参加者の受付スタートは13・15。
・つどいがスタートすると同時にPCを、競技場側に移動。後から来る参加者のために入り口付近の机も置いておく。

・トランポリンコーナー
トランポリンの台数が少ない。トランポリンは、参加者に人気が高く、参加者が多すぎてなかなか飛べない。そのため、ずっと待っている人も多い時がある。競技場に3台ぐらい設置できればいいが、スタッフが少ないため難しい。なかには、トランポリンしなれない方もおり、また、参加者の中には、ガイドヘルパーと一緒に参加している人が多いが、ガイドヘルパーが、うまく他のスポーツもできるように工夫してもらいたいところだが、参加者本人の意思を尊重する場面が多いため、なかなかうまく活動の場を広げにくい。(3分跳ぶために20分ぐらい待っている人もいる。)

参加者が多いから、台数を増やすというのでもいいが、トランポリンだけでなく、他のスポーツも体験してほしいと思うので、あえて、3台用意せず、じゃばらトンネルを置いてあるスペースを工夫して、トランポリン以外のスポーツも楽しんでもらえる工夫をしたい。

また、子供たちは少し冒険できるような活動が好き。(ちよつとした高いところから跳ぶなど。)

過去のつどいでは、トランポリンの次は、サーキットに行くといったように、交代して楽しんでいた。知的障害のある人は、サーキット状に流れるを作ること、繰り返して楽しめる。また、子供が楽しめる

ものが少ないように思われる。子供たちの活動の場も充実させるために、次の通り工夫する。つどい500を契機にサーキット活動の充実(子供たちの活動の場を広げる。)

平均台・じゃばらトンネル・エアートランポリン・ダイバー トランポリンなどを工夫して配置していく。配置するスタッフの調整をしながらつどい500で実施していく。(今後の検討課題)

・卓球コーナー・・・今のまま特に気になることはない。

つどい500に向けて検討

第一競技場の充実

つどい500に向けて参加者が何をしたいか知りたいねということから、アンケートを取りたいということが出されていますが、その他に今回の拡大実行委員会では次のようなことが出されました。

・受付より

受付のスタッフが競技場の中の様子を見られないこともあって、受付の一部を競技場内に設置することはできないか検討を行いました。あらかじめ、机を一台荷物置き場の隣に配置し、時間によって競技場の中にも受付のスタッフが入れられるように工夫したいと思っています。
・トランポリンコーナーより
トランポリンだけしかしてない方や、子供の参加者が楽しめる種目が少ないということからトランポリンの横のスペース(エアートランポリンや、じゃばらトンネルのある付近)の配置の工夫をしてみようということになりました。